

単元名 詩を楽しもう

配当時間 1時間

- 単元の目標 (1) これまでに身に付けてきた音読の技能を生かして、詩を音読することができる。
 (2) 詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
 (3) 音読の技能を生かし、互いの表現の意図に応じて詩の音読について感想を交流しようとする。

標準的な展開例

06010102_001

【教材名】春の河／小景異情 (P. 14～P. 16)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 「春の河」「小景異情」を情景を思い浮かべながら音読する。 ★音読を聞き合って、感想を交流しよう。 ○情景を思い浮かべながら音読する。 ○表現の効果を考えて音読する。 ○音読を聞き合い、互いに感じたことを伝え合う。 ○学習のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・文語調の表記や表現の工夫に着目させる。 【評】詩を音読する活動を通して、既習の技能を生かす「知識・技能」を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・想像した情景を伝えるためにどう音読すればいいかを考えさせる。 ・言葉の抑揚や強弱、速さ、間の取り方などについて気を付けさせる。 【評】表現の効果を考えて音読する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 【評】音読する活動を通して、感想を交流しようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書(P. 16)「続けてみよう」を読み、年間を通した継続的な活動に取り組む意欲をもたせる。

【 備 考 】